

ここばりこまき

当事者から学ぶここ3のバリアフリー 第4回

障害のある人の 声を受けとめて

昨年9月から3回にわたり「当事者から学ぶここ3のバリアフリー」をテーマに聴覚障害のある人、精神障害のある人、知的障害のある人のお話を聞いてきました。当事者からのメッセージを受けとめて、だれもが安心して暮らすために大切なことは何か、みんなで話し合います。

日時：2017年 3月 20日（月・祝）

午後 1 時 30 分～3 時 30 分（開場 1 時）

ところ：小牧市ふれあいセンター 3階大会議室

参加費：無料

●手話通訳・要約筆記あり●

定員：150人

【内容】(1) 3回の学びの振り返り

(2) パネルトーク「障害のある人の声を受けとめて」

パネラー

川崎高子さん（サンフレンド障害者生活支援センター長）

伊藤かおりさん（(特)こまき市民活動ネットワーク事務局長）

梅村昌行さん（小牧市健康福祉部地域福祉課）

会場準備、資料作成の都合上、できるだけ事前申込みをお願いします。
お申込みは、チラシの裏面をご覧ください。

主催 ここばりこまき <http://kokobari-komaki.net>



ここばりこまき とは

ここばりこまきは、小牧市でしょうがいのある人もない人も暮らしやすいまちをつくるために、ここ3のバリアフリーを進める活動をしている市民活動団体です。2008年の設立以来、しょうがいのある人の暮らしを知るためのビデオ制作や上映会のほか、バリアフリーコンサート・講演会・研修会などを開いてきました。また2014年度には、小牧市との協働で「小牧市権利擁護のあり方検討事業」を実施し、権利擁護支援センターの設置などについて検討してきました。

今年度は「障害者差別解消法」の施行（4月）を機会にとらえ、「当事者から学ぶ ここ3のバリアフリー」事業（小牧市市民活動助成金交付事業）として、これまでに次のような学習会を3回開きました。

◆第1回「ろう者と中途失聴者から学ぶ」9月4日（日）

それぞれの立場の方からお話を聞き、生活の中の不便さや、ろう者と中途失調者では求めるコミュニケーションの方法に違いがあることなどを学びました。

◆第2回「統合失調症の人の生きづらさと回復への道について学ぶ」10月23日（日）

統合失調症による生きづらさを抱えながら、発症した経緯や、長い年月をかけて自分らしく生きることを獲得した回復への道のりなどについて、2人の方よりお話を聞きました。また、彼らが通う施設職員の方から、気持ちに寄り添う支援のあり方について話を伺いました。

◆第3回「本人活動について学ぶ」11月20日（日）

知的障害のある人たちが、自分たちで決めて自分たちで運営する「本人活動」について、「名古屋手をつなぐ育成会」の3人の仲間より、18年間の歩みと、これからの希望について話していただきました。

当事者から学ぶこころのバリアフリー 第4回 申込書

①氏名	②連絡先	③所属団体など	④配慮すること

※④は、障がいが理由で配慮が必要な場合にご記入ください。準備の都合のため、申込みの時期によっては、ご希望に添えない場合があります。

※お申込みの受付については、定員を超えて参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします。

【申込み・問合せ先】

FAX 052-308-6867（送る時に表裏にご注意ください）

インターネットFAXのため、名古屋市の局番になっています。

メール mail@kokobari-komaki.net

メール送信のためにQRコードをご利用下さい。機種によってはうまくできないこともあります。

